

# 県図なう。

令和5年4月15日  
第145号(毎月15日発行)  
http://www.library.pref.kagoshima.jp  
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の「今(ナウ)」をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。 鹿児島県立図書館

## ホットニュース

4月23日は「子ども読書の日」です!

### 「子ども読書の日フェスティバル」



昨年度の様子  
【おはなしのじかんスペシャル】

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は4月23日を「世界図書・著作権デー」と制定しました。日本では、この日を「子ども読書の日」と定め、読書推進運動協議会は、4月23日から5月12日を「こどもの読書週間」として、毎年、子供の読書推進活動を行っています。

県立図書館では、この期間を「子ども読書の日フェスティバル」期間として、様々な催しを実施します。多くの方のお越しをお待ちしております。

#### 4月23日(日)

14:00~「ポスター原画コンクール表彰式」  
場所: 1階大研修室  
14:15~「おはなしのじかんスペシャル」  
場所: 1階大研修室

#### 4月26日(水), 5月10日(水)

15:30~「みどりのおはなしのじかん」  
場所: 児童庭園  
※ 雨天時は室内に変更

#### 4月23日(日)~5月10日(水)

「毎月23日は子どもといっしょに読書の日」  
ポスター原画コンクール入賞作品展  
場所: 正面玄関ホール

## 図書館で探そう、調べよう! ~「鹿児島三越」について調べたい~

かつて鹿児島市に存在していた「鹿児島三越」について調べたいという御依頼がありました。「鹿児島三越」は、丸屋が三越と資本提携し、現在マルヤガーデンズが位置する場所で営業していた店舗です。調査ではまず、「丸屋」をキーワードに、当館の所蔵資料及び過去のレファレンス事例を検索しました。その結果、『丸屋のあゆみ』(大園 純也/著, 1973年丸屋/出版)という資料がヒットしましたが、資本提携が行われたのは1983年のこと(「株式会社丸屋本社」のWebサイトより)であるため、鹿児島三越に関する情報は見当たりませんでした。このように、システム上で検索しても欲しい情報が見つからない場合は、棚に並んでいる本を直接見に行きます。その場合、闇雲に調査するのではなく、ある程度予想を付けて調査します。今回は商業と経済の分野に限定して調査しましたが、それらの資料の中からも、関連情報を得ることができませんでした。図書資料からも情報が得られなかったため、続いて新聞情報を調査することとしました。その結果、資本提携が始まった1983年9月1日の南日本新聞には、「新生・丸屋きょうスタート」という記事が掲載されており、同記事には「丸屋のあゆみ」という年表が掲載されていました。この年表からは、丸屋と三越の資本提携に至るまでの情報を得ることができました。複数の調査手段を用いた結果、少ないながらも、質問者の方へ関連情報を提供することができました。「せっかく御依頼をいただいたのだから、少しでも多くの情報を提供したい」という気持ちを大切に、今後も粘り強く調査をしていこうと思った事例でした。

### 《一般図書》4月14日(金) **新着図書案内** 《児童図書》4月23日(日)

- 『科学的に証明された自分を動かす方法』 アイレット・フィッシュバック/著, 上原 裕美子/訳 東洋経済新報社
- 『読み継がれる自分史の書き方』 森 一夫/著 税務経理協会
- 『アフリカではゾウが小さい』 岩合 光昭/著 毎日新聞出版
- 『建築家は住まいの何を設計しているのか』 藤山 和久/著 筑摩書房
- 『今昔奈良物語集』 あをにまる/著 KADOKAWA
- 『ねむいねむい』 西村 敏雄/作 小学館
- 『コアラのなみだ』 今西 乃子/作, 水野 哲男/監修, サトウ ユカ/絵 合同出版
- 『めんはすごい! シェフが先生! 小学生から使える、子どものためのいろんなめんの料理本』 柴田書店/編, 秋元 さくら/ほか著 柴田書店
- 『さみの人生はさみのもの 子どもが知っておきたい『暮らし』の話』 谷口 真由美/著, 荻上 チキ/著 NHK出版
- 『図解で分かる14歳からの金融リテラシー』 社会応援ネットワーク/著 太田出版

## 催し物の御案内

- 一般閲覧室ミニ展示  
4月1日(土)~4月30日(日)  
「鹿児島ゆかりの人たちの本」  
ようこそ鹿児島へ! 鹿児島ゆかりの人たちの本を読んで、よりディープなところを探ってみませんか。
- 児童文化室ミニ展示  
4月23日(日)~5月21日(日)  
「大好きな友だち」  
新しい友だちはできたかな? 4月になって少し大人になったあなたに、友だちをもっと好きになる本を紹介します。

## 図書館職員のつぶやき

ジョギングが趣味という友人がいます。マラソン大会にもよく出場し、フルマラソンで目標を達成しています。すごいと思います。先日、4年ぶりに開催された「鹿児島マラソン大会」に参加した友人を応援し、その姿に感動しました。そんな友人は、昔から読書好きでもあります。私が「マラソンやジョギングに役立つ本は?」と尋ねると、すぐに数冊を紹介してくれました。筋肉の疲労具合や走るペース、フォームの微調整など、話を聞けば聞くほど、友人が走るために大切なことを「本」から学んでいるのが分かりました。走りながら本を読むことはできなくても、後で自分の走りを振り返り、手にした本で知識を得て、それを試してみよう。友人は、「読書」と「よい走り」をつなげていたのです。ちなみに、自然の中を走るのとはとてもいいそうです。健康にはもちろん、ストレス解消や記憶力UPにも。そう考えると、マラソン等を読書とからめて始めるのはいいことかもしれませんね。

## 県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、うちのますみ/文・絵、佐藤雅彦/原案の『もぐらバス』(偕成社)です。「もぐらバスのうんちんは、1かい1えんです。」という案内からお話しは始まります。4歳の孫は、もうそこで驚きです。「1かい1えんだって!」とうれしそうに話します。町の地面の下に広がるちいさなトンネルは、もぐらの建設会社が掘ったものです。そのトンネルの中を行ったり来たりしているのが「もぐらバス」。そのバスを利用するのは、すずめやねずみ、かえるやかめ。何とも言えない世界観です。ある日もぐらバスの前に現れた巨大たけのこ。バスの乗客達は「たけのこじゃしかたない」と、のんびり待ちます。大きなたけのこが掘られた場面では、特に目を輝かせて読み進める孫の姿。大好きなこの本を、先日ようやく一緒に読んであげることができました。今は成長した初孫から4番目の孫に手渡され大切に読み続けているこの絵本は、我が家の宝本です。



## 図書館クイズ

にじいろのほん『おへそのあな』  
長谷川義史/作(BL出版)からのクイズです。

あかちゃんが うまれたら  
みんなで どこに いこう?  
①うみ ②かわ ③やま

ヒント  
なみが よせたり ひいたり

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、5月14日(日)までに投入してください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。前回の答えは「③いぬ」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

## 図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
4月	9	10	11	12★	13	14◇	15◆
	16	17	18	19★	20	21	22
	23	24	25	26★	27	28◇	29
	30	1	2	3	4	5	6
5月	7	8	9	10★	11	12◇	13
	14	15	16	17★	18	19	20◆

- 開館時間 火曜日~土曜: 9時~21時  
日曜日・祝日(盲聾): 9時~17時
- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時~17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分~16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時~)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(4月14日、28日、5月12日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(4月23日)
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。